

医師に対するインターネットアンケート調査
単純集計結果

■調査の概要	2
■単純集計結果.....	3
■回答者の属性.....	34
■単純集計結果のまとめ.....	37
■単純集計結果の総括.....	40
■アンケート項目	41

■調査の概要

● 調査対象

- 年齢が 50 歳以上であり、かつ専門分野として産科、消化器外科、小児科、血液内科、胸部外科を専門として挙げている医師
- 産科、消化器外科、小児科、血液内科については各々 20 サンプル程度を確保するよう割付けを行った。

● 調査手法 インターネットアンケート

● 回収数 103

● 調査期間

- 2009 年 9 月 4 日（金）～9 月 14 日（月）

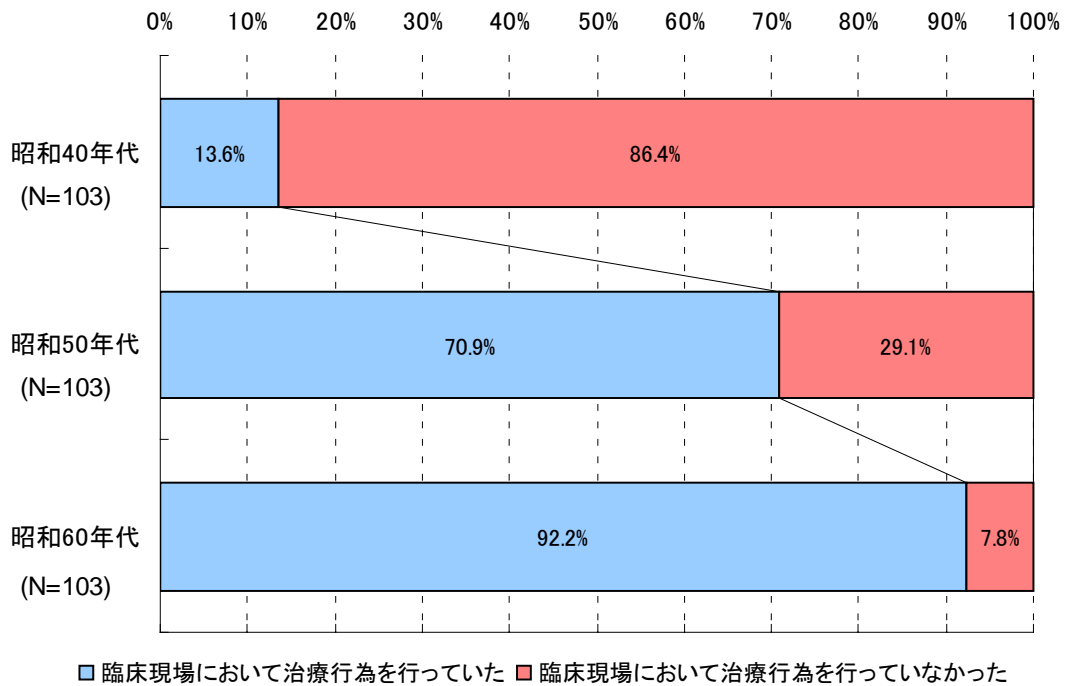
■単純集計結果

● 問1 S1-1, S1-2, S1-3.

治療行為を行っていた時期

- 昭和40年代に診療していた医師は約1割で、昭和50年代以降に診療経験がある医師が大部分を占めた。

問1. 昭和40年代～昭和60年代、臨床現場において治療行為を行っていましたか？



● 問 2. 各製剤の使用経験

- フィブリノゲン製剤、フィブリン糊、第Ⅸ因子複合体製剤いずれについても、使用経験のある医師は約半数であった。すなわち回答者の半数強はこれらの製剤を使用したことが無い。

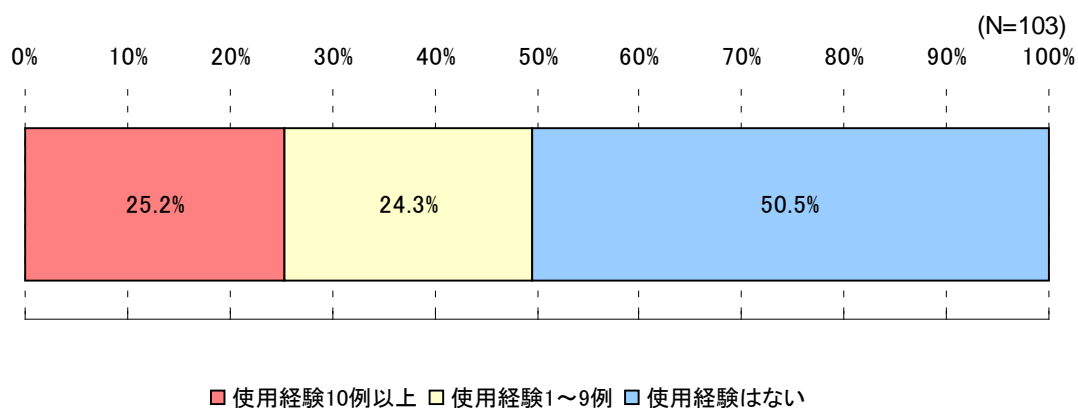
● 問 2-①

フィブリノゲン製剤の使用経験

- 使用経験がある医師は約半数であった。

問 2. これまでに下記製剤を治療に使用したことがありますか。

①フィブリノゲン製剤



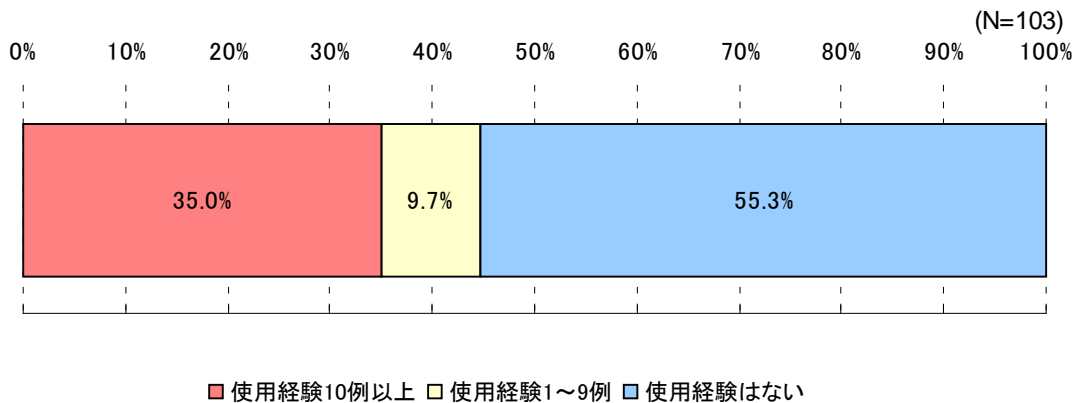
● 問 2-②.

フィブリン糊の使用経験

- 使用経験がある医師は半数弱であった。10例以上の使用経験がある医師が35%と他の製剤に比べ高い割合を示しているが、これについては、本アンケートを行った際に回答者に参考として提示したフィブリン糊の商品リスト（p.41 参照）にボルヒール、ベリプラストが記載されていたことや、実際に問 3 S3-1-②（後述）の回答にボルヒールやベリプラストという回答が多かったことから、ボルヒール、ベリプラスト等の正規品の使用に起因するものが多く含まれている可能性がある。

問 2. これまでに下記製剤を治療に使用したことがありますか。

②フィブリン糊



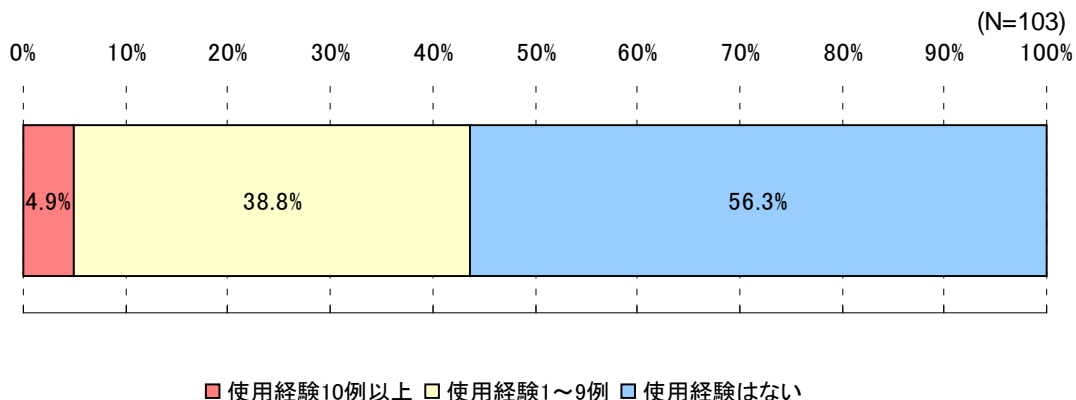
● 問 2-③.

第Ⅸ因子複合体製剤

- 使用経験がある医師は半数弱であった。

問 2. これまでに下記製剤を治療に使用したことがありますか。

③第Ⅸ因子複合体製剤



● 問3 S3-1-①.

フィブリノゲン製剤を使用した疾患（自由記述）

- 使用した対象疾患についての解答は、製剤名を回答したのみで対象疾患名を答えていない医師が多いが、対象疾患としては血液内科では DIC、白血病、小児科は白血病、消化器外科は手術時の止血、産科は産科出血、DIC などの疾患が挙げられる。

問3 S3-1 各製剤をどのような疾病に対して利用しましたか？

①フィブリノゲン製剤

専門分野	記述内容
血液内科	DIC
消化器外科	術後
小児科	フィブリノゲン HT-ミドリ
小児科	白血病
消化器外科	手術後 t 後患者 大量出血後
小児科	フィブリノゲンミドリ
血液内科	末期肝硬変の食道静脈瘤破裂、劇症肝炎
消化器外科	肝癌
一般内科	フィブリノゲン HT-ミドリ
血液内科	フィブリノーゲン-ミドリ、フィブリノゲン-ミドリ
消化器外科	フィブリノーゲン
病理診断科	分娩出血、悪性腫瘍
心臓血管外科	心臓外科症例
血液内科	フィブリノーゲン-ミドリ、フィブリノゲン-ミドリ
血液内科	急性白血病 DIC
消化器外科	出血
血液内科	出血傾向
消化器外科	肝硬変
血液内科	先天性無フィブリノゲン血症
血液内科	フィブリノゲン HT-ミドリ
血液内科	フィブリノーゲン-ミドリ、フィブリノゲン-ミドリ フィブリノゲン HT-ミドリ
血液内科	DIC
血液内科	DIC
小児科	DIC
消化器外科	消化管出血
胸部外科	フィブリノーゲンミドリ
産科	産科出血
消化器外科	心臓手術後縦隔ドレーンからの出血例
胸部外科	フィブリノゲン
消化器外科	組織の接着、閉鎖
消化器外科	止血剤
小児科	フィブリノーゲン-ミドリ、フィブリノゲン-ミドリ
血液内科	DIC
消化器外科	肝切除

専門分野	記述内容
小児科	フィブリノーゲン
血液内科	白血病患者のDICにフィブリノーゲン-ミドリ
胸部外科	緊急施術を要した心臓血管手術で止血困難例
血液内科	フィブリノーゲン-ミドリ
血液内科	DIC,AML,TTP
産科	分娩時の大量出血
小児科	先天性低フィブリノーゲン血症
内科	dic
産科	分娩時大量出血
産科	フィブリノーゲン-ミドリ 産科大量出血
産科	DIC
産科	フィブリノーゲンミドリ、フィブリノーゲンHTミドリ
産科	弛緩出血 DIC
産科	産科出血、弛緩出血、常位胎盤早期剥離
産科	術中止血
産科	産後大量出血
産科	産科DICに対して

※問2-①で「使用経験10例以上」または「使用経験1~9例」と回答した方に対する質問

● 問3 S3-1-②.

フィブリン糊を使用した疾患（自由記述）

- 使用した対象疾患についての解答は、製剤名を回答したのみで対象疾患名を答えていない医師が多いが、対象疾患としては肝切除、胸部手術、心臓手術、産科手術（出産のみならず子宮、卵巣手術時）が挙げられる。

問3 S3-1 各製剤をどのような疾病に対して利用しましたか？

②フィブリン糊

専門分野	記述内容
消化器外科	消化器外科、特に肝臓切除術
胸部外科	心臓手術症例、肺手術症例
消化器外科	術中術後の出血対策
消化器外科	膵疾患
消化器外科	肝切除
消化器外科	肝切除後の止血目的
消化器外科	大腸癌
消化器外科	ペリプラストを肝臓手術に
消化器外科	ボルヒール、ペリプラスト
心臓血管外科	心臓外科症例
胸部外科	気胸
胸部外科	フィブリノーゲン-ミドリ (?) とトロンビン
消化器外科	手術時
小児科	気胸
消化器外科	術後止血
消化器外科	肝切除
消化器外科	ペリプラスト
消化器外科	肝臓、膵臓手術の組織閉鎖
消化器外科	肝硬変
胸部外科	ボルヒール ペリプラスト
胸部外科	心臓、血管手術
血液内科	再発性気胸
消化器外科	肝切除の断端に使用
産科	術中出血困難
消化器外科	肺の手術におけるリーク防止。血管手術の吻合部出血予防。消化管手術の吻合部縫合不全予防
消化器外科	悪性腫瘍等
胸部外科	ボルヒール、ペリプラスト P
胸部外科	心臓手術、肺切除術
呼吸器外科	空気漏れを止める
消化器外科	組織の接着、閉鎖
消化器外科	術中切除断端面の止血
胸部外科	心臓血管手術
胸部外科	難治性気腫と難治性びまん性出血
消化器外科	肝切除
消化器外科	・フィブリノーゲン HT-ミドリ ・ボルヒール・ペリプラスト

胸部外科	重症心臓血管外科手術で止血困難例
産科	手術所の剥離面からの出血
産科	ペリプラスト 子宮頸癌手術中
産科	子宮頸癌、卵巣癌、子宮内膜症の手術時
産婦人科	卵巣嚢腫、卵巣子宮内膜症性嚢胞、骨盤内子宮内膜症、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣癌、
産科	癒着剥離時の止血
産科	産科開腹手術、婦人科開腹手術、婦人科腹腔鏡手術
産科	子宮内膜症手術
産科	弛緩出血 DIC
産科	卵巣嚢腫腹腔鏡手術
産科	手術時に術後癒着防止のために使用

※問 2-②で「使用経験 10 例以上」または「使用経験 1~9 例」と回答した方に対する質問

● 問3 S3-1-③.

第Ⅸ因子複合体製剤を使用した疾患（自由記述）

- 使用した対象疾患についての解答は、製剤名を回答したのみで対象疾患名を答えていない医師が多いが、対象疾患としては血友病が多く、少数（各 1 例ずつ）だが DIC、肝硬変、肝切除などにも使用されていた。

問3 S3-1 各製剤をどのような疾病に対して利用しましたか？

③第Ⅸ因子複合体製剤

専門分野	記述内容
血液内科	血友病
消化器外科	外傷性十二指腸血腫の手術時に、止血が得られず、検査により血友病と判明し、補充療法により止血・救命できた
小児科	クリスマシン
小児科	凝固因子欠損症
小児科	クリスマシン
血液内科	血友病 B
血液内科	血友病
消化器外科	DIC
産科	忘れました。
血液内科	クリスマシン
消化器外科	クリスマシン
血液内科	血友病
小児科	血友病
血液内科	出血
小児科	未熟児
消化器外科	血友病のヒトの手術
血液内科	血友病 B
血液内科	クリスマシン
血液内科	クリスマシン、クリスマシン-HT
血液内科	血友病
血液内科	Lebercirrhosis
小児科	血友病
産科	クリスマシン
血液内科	クリスマシン
消化器外科	出血傾向
小児科	・クリスマシン
血液内科	血友病 B
消化器外科	肝切除
小児科	コーナイン
消化器外科	・クリスマシン・クリスマシン-HT
血液内科	血友病 B 患者にクリスマシン
血液内科	クリスマシン
血液内科	hemophilia B
小児科	血友病
小児科	血友病
小児科	血友病